

1. 追加接種(3回目接種)の概要

○追加接種の状況

(1月11日時点)

接種済者数	1回目	1,120,879 回
	2回目	1,112,296 回
	3回目	9,813 回

○特例臨時接種の期間

- ・現行の期間(令和4年2月28日まで)を延長し、令和4年9月30日まで
(追加接種は令和3年12月1日から開始)

○接種対象者

- ・**18歳以上の者**を予防接種法上の特例臨時接種に位置
- ・「特に追加接種をおすすめする者」
⇒重症化リスクの高い者、重症化リスクの高い者と接触の多い者、職業上の理由等によりウイルス曝露リスクの高い者

○使用するワクチン

- ・1回目・2回目に用いたワクチンの種類にかかわらず、mRNAワクチン
(ファイザー社ワクチンまたはモデルナ社ワクチン)

○2回目接種完了からの接種間隔

- ・**2回目接種の完了から原則8か月以上**
【8カ月以上の経過を待たずに追加接種を実施する場合の考え方】
 - ① 医療従事者等および高齢者施設等の入所者等
⇒ 初回接種の完了から6カ月の間隔を置いて追加接種を実施できる。
 - ② ①以外の高齢者
⇒ 令和4年2月以降初回接種の完了から7カ月以上経過した後に追加接種を実施できる。

2. 接種対象者数の推移

【単位:千人】

		令和3年度					令和4年度				合計
		12月	1月	2月	3月	小計	4月	5月	6月	7月	
		(2回目接種完了月) ~R3年4月	R3年5月	R3年6月	R3年7月		R3年8月	R3年9月	R3年10月	R3年11月	
医療従事者等	前倒し前	12	20	14	4	50	---	---	---	---	50
	2か月前倒し後	46	4	---	---	50	---	---	---	---	50
高齢者	前倒し前	---	14	117	186	317	19	4	3	2	345
	2か月前倒し後 (高齢者施設等の入所者等)	24	35	4	1	64	1	---	---	---	65
	1か月前倒し後 (上段以外の高齢者)	---	13	245	15	273	3	2	2	---	280
一般	前倒し前	---	4	7	47	58	214	175	195	55	697
	2か月前倒し後 (高齢者施設の職員等) その他は前倒し無し	11	47			58	214	175	195	55	697
合計	前倒し前 対象者数計	12	38	138	237	425	233	179	198	57	1,092
	前倒し後 対象者数計	81	99	249	16	445	218	177	197	55	1,092
ワクチンの供給(千回)		54	131		280	465	40				

3. 追加接種における市町へのワクチン配分状況

	ファイザー社ワクチン(※1)					モデルナ社ワクチン(※2)			合計
	第1クール	第2クール	第3クール	合計		第1クール	合計		
	①	②	③	①+②+③ =④	④×1170 =⑤	⑥	⑥=⑦	⑦×150 =⑧	⑤+⑧
	(箱数)	(箱数)	(箱数)	(箱数)	(回数)	(箱数)	(箱数)	(回数)	(回数)
大津市	13	29	18	60	70,200	302	302	45,300	115,500
彦根市	2	9	6	17	19,890	97	97	14,550	34,440
長浜市	5	9	6	20	23,400	95	95	14,250	37,650
近江八幡市	3	7	4	14	16,380	70	70	10,500	26,880
草津市	4	10	6	20	23,400	104	104	15,600	39,000
守山市	3	6	3	12	14,040	60	60	9,000	23,040
栗東市	2	4	3	9	10,530	42	42	6,300	16,830
甲賀市	3	8	5	16	18,720	86	86	12,900	31,620
野洲市	1	4	2	7	8,190	39	39	5,850	14,040
湖南市	2	4	3	9	10,530	44	44	6,600	17,130
高島市	2	4	3	9	10,530	48	48	7,200	17,730
東近江市	2	9	5	16	18,720	89	89	13,350	32,070
米原市	1	2	2	5	5,850	28	28	4,200	10,050
日野町	1	2	1	4	4,680	18	18	2,700	7,380
竜王町	0	1	1	2	2,340	13	13	1,950	4,290
愛荘町	1	1	1	3	3,510	13	13	1,950	5,460
豊郷町	1	1	0	2	2,340	5	5	750	3,090
甲良町	0	1	0	1	1,170	7	7	1,050	2,220
多賀町	0	1	0	1	1,170	8	8	1,200	2,370
合計	46	112	69	227	265,590	1,168	1,168	175,200	440,790

※1 ファイザー社ワクチンについては、1箱1,170回分

※2 モデルナ社ワクチンについては、1箱150回分

4. 追加接種における市町の接種体制

1月11日現在の予定

	ファイザー社ワクチン				モデルナ社ワクチン			
	集団接種会場		個別接種会場		集団接種会場		個別接種会場	
	会場数	1日接種回数	会場数	1日接種回数	会場数	1日接種回数	会場数	1日接種回数
大津市	----	----	80~130	500~1,300	2	1,200	----	----
彦根市	1	150	34	654	4	960	4	120
長浜市	----	----	50	未定	5	1,360	----	----
近江八幡市	1	300	31	未定	1	未定	1	150
草津市	----	----	50	未定	2	360~450	----	----
守山市	----	----	41	未定	1	150~250	7	未定
栗東市	1	520~1,210	17	未定	1	250~570	2	未定
甲賀市	2	350	20	100	1	240~500	----	----
野洲市	1	160~500	9	未定	1	250~500	1	未定
湖南市	----	----	12	未定	1	未定	----	----
高島市	----	----	27	400	2	240~600	----	----
東近江市	7	900	16	96~192	----	----	10	450
米原市	----	----	1	90~120	2	150~480	1	90~120
日野町	1	100	----	----	1	100	----	----
竜王町	1	250	4	122	1	250	2	95
愛荘町	1	180~570	----	----	1	180~570	----	----
豊郷町	1	90~270	----	----	1	120~270	----	----
甲良町	----	----	1	12~36	1	150	----	----
多賀町	1	160	----	----	1	160	----	----

5. 追加接種における市町のきめ細やかな対応

初回接種(1回目・2回目)における主な対応から

高齢者	障害者等
高齢者施設等への巡回接種	希望者を対象とした聴覚障がい者向けのワクチン接種説明会を開催
接種会場に来れない人に対し、居宅へ訪問し接種	接種券案内等に点字シールの貼付
シャトルバス・循環バスの運行	手話通訳等の配置日を設定
送迎タクシーによる移送サービスの実施	配慮を希望される方への専用の接種日を設置
ボランティアスタッフによる予約支援(web予約サポート等)	受付時間の調整・事前の対応相談
ボランティアスタッフによる会場案内	配慮が必要な人のために、施設・事業所での接種
案内板等の表示を大きな文字で見やすく掲示	筆談での受付・コミュニケーションボード等による案内
介助者が受付～接種～経過観察まで同行できるよう、介助者用の椅子を増やす等、レイアウトを工夫	タブレットを利用したコミュニケーション支援ツール(手話対応)による対応
衣服の脱着を行う同性のサポート員を設置	色や絵を用いてわかりやすい接種動線を確認
希望者に対して臥位接種を実施	別室・パーティションで区切る等スペースを確保し、落ち着いて接種できる会場設定

6. 県広域ワクチン接種センターの再設置(案)

項目	概要
名称	滋賀県広域ワクチン接種センター
運営期間	令和4年4月15日(金)～9月26日(月) ※前倒し設置を検討中
運営時間	金・土・日・月の週4日 金・土 受付13:30～20:00 日・月 受付10:30～16:30
接種見込数	160,000人程度
対象者	以下の者で、3回目の接種券をお持ちの方 ・県内に住民票のある者 ・県内の事業所または学校に通勤・通学している者
接種会場	南部会場 【予診4ブース 接種5ブース】 北部会場 【予診3ブース 接種4ブース】
予約方法	インターネット (3月中旬～予約開始)
ワクチン	モデルナ社製ワクチン

7. ワクチン接種の副反応

副反応疑い報告数

○ワクチン接種は、体内に異物を投与し免疫反応を誘導し、感染症に対する免疫を付与すること目的として行われるため、効果とともに、副反応が生じうる。

○本県の医療機関から、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に『新型コロナワクチンの接種後の副反応疑い』として報告がなされたものとして、厚生労働省から県に情報提供があったものを集計。

○ワクチン接種後には、接種と因果関係のない偶発的な事象も生じるが、因果関係が不明な場合も含めて、副反応を疑う事例として広く収集し、評価の対象としている。

令和4年1月11日現在

(人)	副反応疑い報告数			年代別	
		うち重篤		64歳以下	65歳以上
			うち死亡		
男性	77	36	16	57	20
女性	149	50	5	112	37
不明	0	0	0	0	0
合計	226	86	21	169	57

※ 死亡の21例のうち、17例については、医療機関からはワクチン接種との因果関係が評価不能、4例は接種との関連ありと報告されている。

専門相談窓口 相談件数

医療機関からのワクチンに関する専門的な問い合わせや、県民からのワクチンの副反応、効果等について、市町での対応が困難な相談に対応するための窓口を設置

総件数 (件)	手段内訳			内容内訳				
	電話	FAX	メール	接種後の副反応の相談	接種前の副反応の心配	副反応以外の医療に係る相談	その他	
日中	27,717	27,555	21	141	8,714	4,286	2,366	12,351
夜間	5,268	5,256	0	12	3,673	289	665	641
合計	32,985	32,811	21	153	12,387	4,575	3,031	12,992

令和3年3月1日～令和4年1月10日

※1 日中...午前9時から午後6時まで、夜間(4/12から)...午後6時から午前9時まで

※2 その他...当窓口で本来対応すべき内容ではないワクチン接種に関する苦情や接種の予約など

8.小児へのワクチン接種体制

基本的な考え方

- 対象年齢
 - ・5歳以上11歳以下の者(以下「小児」という)
- 使用するワクチン等
 - ・小児用ファイザー社製ワクチンを2回接種
- 接種体制
 - ・市町の住民接種
- 今後のスケジュール
 - ・1月下旬以降 厚生科学審議会(予防接種・ワクチン分科会)の開催
(薬事承認が得られた後に特例臨時接種への位置づけについて諮問(予定))
審議会です承が得られれば、速やかに予防接種法省令改正等の対応
 - ・3月～ 国内配送開始・接種開始(予定)

参考

小児用ファイザー社製ワクチンの特性

⇒12歳以上用の既存のファイザー社製ワクチンとは用量等が異なる

・配送単位	10バイアル/箱	(12歳以上用:195バイアル/箱)
・採取回数	10回/バイアル	(12歳以上用:6回/バイアル)
・1回あたり	0.2mL	(12歳以上用:0.3mL)